

# Spire\_M

音楽のおくりもの Information

小学校版  
通巻第27号

## contents

p.2 新しい教科書

**音楽のおくりもの** ことができました！



p.8 新しい教科書。 こんな授業ができる！  
福井大学 橋本 龍雄

p.12 異国体験こぼれ話 —スペイン・アンダルシア編—  
帝京大学 桐原 礼

新しい教科書

# 音楽の おくりもの ができました！

「音楽のおくりもの」が新しくなりました。

子どもたちが楽しく学習に取り組むための、楽しいイラストや美しい写真を豊富に掲載。わかりやすさ、見やすさを工夫したデザインは、カラーユニバーサルデザインにも配慮しています。

また、技能のスキルアップを旨としたコラムや、資料なども充実させています。新しくなった「音楽のおくりもの」を是非、お手に取ってご覧ください。



新しい！  
教科書



美しい！  
紙面

楽しい！  
アイデアが満載



ここが新しい

ワイドな写真

新しい  
音楽の  
おくりもの

3 ページ分の幅を持った折込ページを設け、  
より迫力のある写真を掲載しました。

▼ 3 年 p.40-41



ワイドに!



当社  
現行版の  
教科書

ここが新しい

## 音楽家からのメッセージ

5年生の巻頭では五嶋みどりさん、6年生の巻頭では辻井伸行さんのメッセージと写真をそれぞれ掲載しました。

▼ 5年巻頭

▲ 6年巻頭

## スキルアップ

歌声やリズムのトレーニングを、4年～6年の各学年 p.6 に掲載しました。



◀ 4年 p.6-7



# 音楽づくり

ここを改良しました

短い時間で仕上げるができる活動に改良しました。



◀ 4年 p.52-53

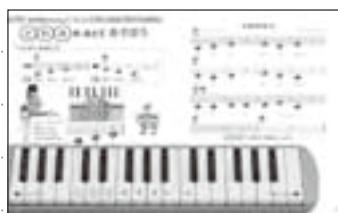
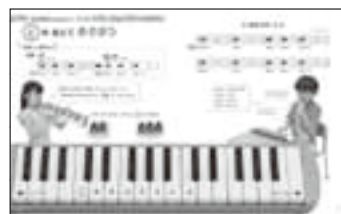
## 鍵盤ハーモニカと リコーダーのページ



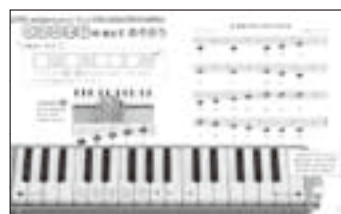
◀ 1年 p.30-31



▶ 1年 p.32-33



◀ 1年 p.34-35



鍵盤ハーモニカとリコーダーの導入は  
連続 8 ページ構成！

1 音ずつ着実に学習していきます。

▶ 1年 p.36-37

## マークとアイコン



「活動のポイント」  
指導上の留意点や評価のガイド

新出事項



2年▶  
p.16-17

もっと あそぼう

習得したことを活用しながら、  
学習を広げる



「ふりかえる」  
学習のふりかえり



「音楽のもと」〔共通事項〕など

題材名



4年▶  
p.40-41

資料等へのリンク

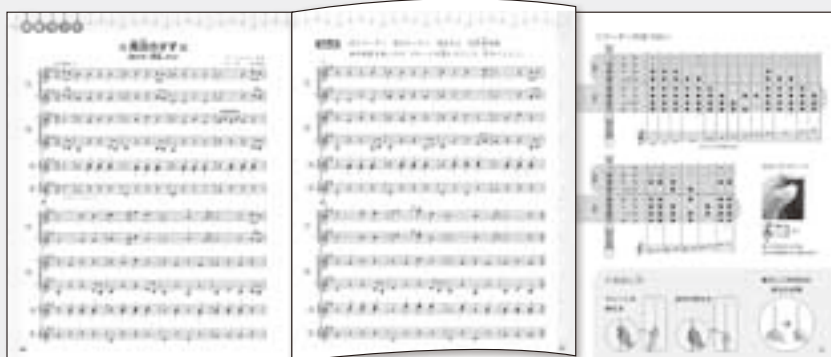
「こいのぼり」 5年 p.38

「いらかの波と雲の波…」の風景を求めて、編集部は各地へ足を運びました。  
そしてこの美しい風景を、奈良県の明日香村にを見つけました。



「リコーダーの指づかい」 4年 p.77

「音楽のおくりもの」  
では、本文の楽譜を  
開いたまま、巻末の  
「リコーダーの指づ  
かい」のページを参  
照できる仕様になっ  
ています。練習に集  
中し、リコーダーを  
楽しんでもらうため  
の配慮です。



「しろくまのジェンカ」 1年 p.20

「音楽のおくりもの」には、かわいい動物  
のキャラクターがたくさん登場しますが、  
このページの白くまは、フェルトの柔ら  
かな質感があり、とってもキュート。撮  
影スタッフのこころをわしづかみにしま  
した。撮影終了後、各自がスマホのカメ  
ラで「パチリ」とやっていました。

# 新しい教科書。こんな授業ができる！

橋本 龍雄（福井大学）

## 1 わくわく授業を始めよう！

子どもの音楽への興味・関心を、授業でもっともっと生かしたい！「わあすごい！」「おもしろい！」「かっこいい！」。子どもたちのこんな歓声が聞きたい。その時、その一瞬、その子なりにぐぐっと感じられるような、そんな授業が出来たら最高だ。これは夢じゃない。現実になる話になったからスゴイ。新しい教科書、指導書、CD、伴奏譜には、工夫に工夫を重ねて最高のものが出来上がった。子どもたちの歓声が待っている。さあ、ワクワク授業を始めよう！

## 2 どんな音がするかな？

楽器を見て、まず思うことは、「どんな音がするかな？」。楽器は音が出てナンボ（大阪弁：それなりの値打ちがある）。どんな音がするのか、聴いてみたくて仕方がない。興味津々だ。この気持ち、大人も子どもも一緒だ。いや、子どもの方がもっと強い。

みんなで一緒に聴いてみると、楽器の音はいろいろな音に聞こえてくる。それが大切だ。

【どんな音がするかな？】→「ねこがニャーと鳴くのとにてる」、「枝にとまって鳴いてる親鳥みたい」、「ビックリした時の音」、「蜂がビューンと飛んできた音」。

【どんな音がするかな？】→「電車のぷあ〜ん」、「ドッジボールが坂道をころがる音」、「眠たい時の音」、「学校へ行く時に雨が降ってきた音」。

【どんな音がするかな？】「遠足に行く朝の音」、「星がいっぱい出てる音」、「犬が遊んでる時の音」、「テストで百点取った音」。

子どもの音の捉え方は、動物や物の様子と似ている音や自分の気分・気持ちを表す音、景色や感覚的印象を表す音など、実に様々であることがよくわかる。

音をどう捉えるか。音楽活動の原点といえるものだ。だからこそ、鍵盤ハーモニカもリコーダーも、ここから頁が始まっている。音を知覚し、こんな音がすると感受した子どもたち。その次は「音であそぼう！」。これが最高に楽しい。

## 3 音であそぼう！

どんな音がするかな → 音であそぼう！

音への興味は「どんな音？」から、その音を使っている「あそぶ」ことで深まり広がっていく。

音楽の授業では、「リズムあそびをしよう」とツツウに使うが、かつては、「リズム学習」という記憶がある。まねっこあそび、音当てあそび、ドレミしりとりあそび…。「あそび」にはワクワク感やドキドキ感がある。身体まるごと音の世界に入って、思いっきり音と戯れ音に浸ろう。

英語では play（遊ぶ、楽しむ、試合する、演奏する、出演する、演技する、上映する…）。「表現」というニュアンスがある。あそびと表現は表裏一体。楽しんでこそ活動だ。

音であそび、楽しみ、知らぬ間に技能も身につく活動が展開するなんて、最高だ。鍵盤ハーモニカで出来るこんな授業を紹介しよう。

(1) まねっこあそび…子どもが見たり聞いたりして知っているモノ、イメージできるモノの音を、鍵盤ハーモニカを弾いてつくる。様子を表す場合もある。

《救急車、パトカー、踏切、すずめ、鳩、猫、犬のいびき、車や電車の警笛、バス、ダンプカー、オートバイ、電車、バックするトラックの警笛、嵐、等々》

(2) お化けの音楽づくり…どんなお化け？ お化けの様子や出没場所など、子どもの想像力が、音楽の創造力となる。

(3) 〈ど〉の音であそび（1年）…リズムに注目！ たん ◇ たん ◇ たん たん たん ◇。

これは、1年 p.20「しろくまのジェンカ」で既習のリズムで、ベートーヴェンやモーツァルトの「トルコ行進曲」でも使われている。

二人とも、トルコの軍楽隊の音楽「メヘテルハーネ」に影響を受けて作曲した。



①伴奏なしで → 1. ゆっくりと、2. もう少しゆっくりと、3. うんとゆっくりと

②伴奏なしで → 1. 少し速く、2. もう少し速く 3. うんと速く

③指導書 CD の伴奏トラック【4種類】使って → その子なりの演奏を楽しませてやりたい。

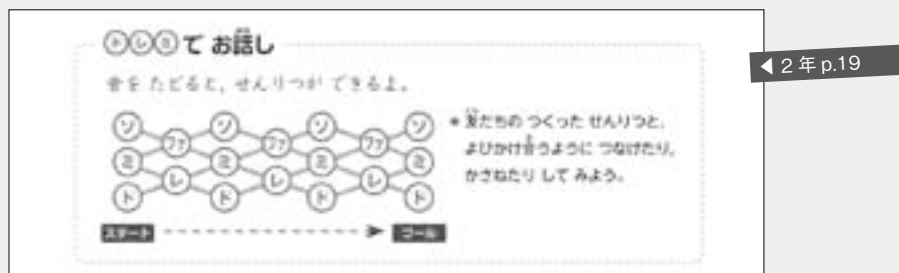
4種類とも雰囲気もテンポも違う、特徴のある編曲で、各々の伴奏バージョンに題名がつけてあり、イメージをもって演奏するきっかけにもなる。

指導書には CD だけでなく、4種類のピアノ伴奏譜も用意されている。

I 「そよかぜのハミング」、II 「おひさまサンバ」、

III 「あおぞらマーチ」、IV 「ほしぞらのララバイ」

(4) ドレミであそび（2年）…すごろく式の道をたどると、自動的に旋律が出来上がる（音楽がつくれる）スグレもの。





- ①旋律づくり → 音をたどって、「自分の旋律」をゆっくり ↓ で吹いてみる。
- ②交互奏 → 友達と交互に自分の旋律を吹く（自分→友達→自分→友達…）  
自分の音に続いて友達の音を聴き、また自分の音を聴き…と、二つの旋律が一つの旋律となつて、音楽が続くおもしろさ。
- ③重奏（音の重なり）→ 友達と同時に演奏すると、二声部や三声部の音楽が現れる。音の重なりのおもしろさを体験。
- ④二人から三人、四人…のアンサンブルへ → 交互奏や重奏を組み合わせ、旋律のつながりや音の響きの変化やアンサンブルするおもしろさが体験できる。
- (5)「ドレミのトンネル」であそぶ…「指くぐり」「指またぎ」を楽しみながら行おう！「指くぐり」の時の中指の支え、「指またぎ」の時の親指の支えに注目すると…。

◀ 「指くぐり」2年 p.23



かえりはまだかな

☆ゆびまたき  
ひいている☆のゆびの上を、  
☆のゆびがまたく

「ドレミのトンネル」を歌いながら、指をゆっくり動かして音を出していく。

- (A) ゆっくり Ver. (♩ = 60), (B) 歩くぐらい Ver. (♩ = 112), (C) ロック Ver. (♩ = 152)  
 [チャレンジ1] …指の動きが慣れるにつれて, (A) → (B) → (C) と伴奏の違いを楽しむ。  
 [チャレンジ2] …子ども自身がお気に入りの Ver. を選んで演奏し、発表し合う。

## ◀レッツ ゴー・リズム

このリズムは一度聴いたら忘れられない。レッツゴー・リズム、またはイケイケ・リズムなどと呼ばれ、サッカーの応援で頻繁に使われている。このリズムで教材が作られた。

(1) 3年生の「レッツゴー ソーレー」(p.29)。

リコーダーの入門段階のための、左手だけで演奏できる教材だ。

このリズムをベースに、いろいろな二重奏のパターン(ユニゾン、音の重なり、交互奏、追っかけ奏)が盛り込まれて、ノリノリの曲となった。指導書CDの伴奏トラックには、テンポの違う3種類の編曲が用意されているのは、鍵盤ハーモニカの「ドレミのトンネル」(2年)と同じだ。3種類の伴奏の違いを楽しみながら、技能も身につく両面仕様なのである。

(2) 5年生では「レッツゴー パーティー」(p.59)。

レッツゴー・リズムを使ったリズム・アンサンプルの初級編である。先ず手拍子でやってみよう。曲の後半部では、Aチームは4小節を5回くり返し、Bチームは5小節を4回くり返す。演奏中にくり返す回数を数えなくとも、他のチームの音も聴こうと意識していると、自動的に「次で終わる」ことがわかる仕掛けが用意されている。子どもはこれに気づくと、このアンサンブルががぜん面白くなって、何度も何度もやりたくなる。

ぜひともトライしてほしい教材だ。

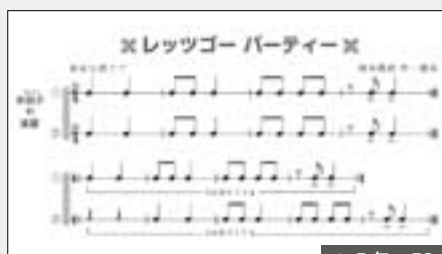
(3) 6年生では、「ボディー サウンドでリズム アンサンブルを楽しもう!!」(p.7)。

4～6年の【スキルアップ/歌とリズムのトレーニング】にあるレッツゴー・リズムを使ったリズム・アンサンブルの中級編である。まず①手拍子、ひざ打ち、足拍子などでリズムを打つ楽しさ。やり出したらハマってしまうこと請け合い。次のステップ②リズム・アンサンブルをつくって演奏する面白さ。やり始めると、子どもから様々なアイデアが出てくる。こんなことまでよく思いつくなあと、感心させられることしきり。リズムを1小節ずつずらして合わせたり、1小節ずつバラバラにして組み合わせたり、同じリズムをくり返して重ねたり、声を加えたり…。簡単なのに面白い、簡単なのにもっとやりたい。簡単なのに深くて広い。

一つのリズムが、学年を越えて何度も登場しながら、音楽の活動が深まっていく。



▲ 3年 p.29



▲ 5年 p.59



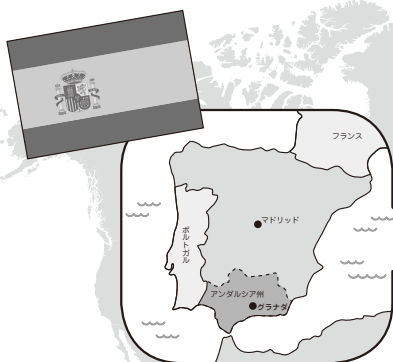
▲ 6年 p.7

# 異 国 体 験

帝京大学 桐原 礼

Hola!

## こ ぼ れ 話



### スペイン・ アンダルシア編

私は現在、スペインの音楽教育について研究しています。その関係で、スペインに滞在したり、スペイン人と交流したりする機会が多くあります。このような中で、研究テーマの音楽はもちろんのこと、食や生活スタイルなどから、文化の違いの面白さを感じることも幾度もありました。そこで今回はスペインの生活や文化などについて、特にスペイン南部のアンダルシア地方に滞在した時の、楽しい体験を綴ってみたいと思います。

#### スペイン人がよく踊るのはホントの話

スペインといえばフラメンコが有名ですが、これはロマ族（スペインではヒターノ）と呼ばれる民族特有の舞踊であるため、スペイン人の誰もが踊れる訳ではありません。しかし、一般的に、スペイン人が踊り好きなことは確かです。

スペインではよく自分の家や友人の家でホームパーティーをします。特に学生たちの間では、「今日の晩はあの家でパーティーがあるよ!」と誰を誘ってもよいので、訪れた家の中は人でいっぱい。もちろん座る場所などありません。ワインやサングリア（果物入り赤ワイン）を片手に、そこで出会った人々と踊りながらお喋りを楽しむのです。スペイン人にとっては、踊って楽しむことが生活の一部になっていると思われます。このような日常ですから、大きな祭りの時には、三日三晩音楽が鳴り続け、昼も夜も踊り続ける人々でいっぱいです。もちろん、子どもたちも大勢います。明日の仕事や学校は大丈夫だろうか…とつい不安になってしまうところが、自分はやはり日本人だなと感じました。

セビリア発祥のセビリャーナスは、祭りでよく見かけるとてもメジャーな舞踊です（写真1、2）。これは、学校で習う機会があるなど、スペイン人ならたいてい踊ることができると言われており、「日本人にとっての盆踊りのような存在」とよくたとえられます。その見た目の華やかさから、すぐに盆踊りと結びつけることは困難ですが、昔ながらの庶民的な舞踊という意

味では通ずるものがあると思います。

踊り好きは、アンダルシア地方特有の文化かと思っていましたが、大晦日の夜、マドリッドに住むスペイン人の友人マリア宅に招かれた時のことです。一家団らんの食事の途中で、「じゃ、そろそろ踊ろうか。」と、家族皆で踊り始めた時には、スペイン人がよく踊るのはホントの話だと確信しました。若者が踊った次には、マリアの父母がベアで楽しげに踊り、その後は、皆でディスコに出かけ、朝まで踊り続けたのでした。



【写真1】  
セビリアの祭りにて。民族衣装を身につけた少女が、一人でステップを踏み始めた。



【写真2】  
グラナダの祭りにて。  
笑顔で華やかに踊る人々。

## 夜遊び天国！

スペインに初めてホームステイで長期滞在していた時のことです。私が夜に出かけない様子を見て、「若いのにどうして夜遊びに出かけないの？」と夫人にとっても不思議がられ、若者は夜遊びに出かけるのが当たり前なのだと言われました。それからは、週末になると友人と夜遊びに出かけるようになったのですが、金曜日の夜ともなれば、バル（居酒屋）やディスコは、どこも人でいっぱい。若者だけではなく、シニア世代のカップルも多数みられ、老若男女問わず、そこで出会った人と共に踊って楽しむのです。場所を転々としながら、朝まで飲んで踊り続ける人々が、なんとたくさんいることでしょうか。真冬の極寒の夜中（スペインの冬は意外と寒い）でもこのような状態ですから、皆、かなりの夜遊び好きと言えるでしょう。

そして、夜10時くらいになっても、バルが多く立ち並ぶ付近では、子どもたちが遊んでいる光景をよく目にします。「どうして子どもがこんなに夜遅くまで外で遊んでいるの？（教育上良くないのでは？）」と聞くと、「子どものうちから少しずつ夜遊びに慣れていかないとイケないでしょ。」「居酒屋付近は人がいっぱいいるから安全なんだよ。」という返答。なんと大らかな文化だろうと、妙に感心してしまいました。確かに、日本のように酔っ払いほとんどいないので、店の明かりがあって人が大勢いるという意味では「安全」と言えるのかもしれません。日本だったら「健全」かどうか問われそうですが…。



## スペイン人の食の好み

スペイン料理は日本人に合うとよく言われますが、その食べ方は日本人とちょっと違います。キーワードは「いつでもパン!」。どんなメニューであれ、必ずパンと共に食べるのです。例えば、パエリア（米料理）とパン、パスタとパンなど、どちらが主食?と誤ってしまいますが、そのくらい、スペイン人にとってはパンの存在が重要なようです。また、昼食が一番大きな食事となり、食事とともにワインを飲むことが多いのですが、「どうして仕事の合間にアルコールを飲んで平気なの?」と聞くと、「別に酔っぱらう訳じゃないし、構わないでしょ。」とのこと。なんともリラックスした文化ではありませんか。日本だったら、工作中にアルコールの匂いを発しながら…というのは考えられない状況ですね。私もスペイン人を真似て昼食にワインを注文したことがあるのですが、料理は日本の2~3倍のボリュームがあり、ワインもグラスからこぼれるほど注いであって、たくさん残してしまったことがあります。店員さんに、「日本人は皆そうなんだよね。」と苦笑いされたことを覚えています。

また、バルでは面白い習慣があります。スペイン人は、おつまみにオリーブを沢山食べるのですが、オリーブの種やようじ、紙ナプキンなど、食べたそばからポイっと床に捨てるのです。床はまたたく間にゴミだらけ。私ははじめのうちは躊躇していましたが、一回やってみたら、何と気持ちのいいことでしょうか! 食べては投げ捨てるを繰り返すうちに、ストレスが解消できてしまうような、そんな爽快感がありました。(スペイン人の友人によれば、これはアラブ文化の影響で、アンダルシア地方限定の現象だそうです。スペイン人誰もがこのようにすると思わないでほしいと言われました。)

## 色濃く残るアラブ文化

アンダルシア地方は、アラブ文化が深く浸透している土地柄です。8世紀からレコンキスタ完了の1492年まで、スペインは北アフリカからのイスラム勢力によって支配されており、その最後の砦となったのが、グラナダのアルハンブラ宮殿です。エジプト人留学生と共にアルハンブラ宮殿を訪れた時のこと。彼女は、宮殿の壁画の中の文字を読むことができると言うのです。私たちにとっては、単なる美しい模様に見えるものが、彼らにとっては、現実に関わり合っている文化をもった人々が生きていたことを実感できるものになっているのでしょう(写真3)。

グラナダの街の中には、モロッコから来たアラブ人経営の店が多数あります。スペインではコーヒー店がたくさんあり、一般的にはお茶はあまり飲まれないのですが、グラナダの“アラブ通り”には、幾つものアラブ喫茶店(テテリーア)があります。照明の明かりを落とし、アラブ風インテリアの店内にて、絨毯の上に座って甘いミントティーを飲んでみると、とてもリラックスした気分になります。モロッコは日本と同様に、イスではなく床(絨毯)の上に座る文化であることも、長いスペイン滞在中、とても癒される場所となる理由でした。ここではアラブ音楽のコンサートが開かれることがあり、弦楽器ウードと太鼓ダラブッカの伴奏に合わせて、魅惑的な歌声を披露してくれます(写真4)。





【写真3】

アルハンブラ宮殿内の壁画。よく見ると、アラビア文字が書かれている。



【写真4】

グラナダのアラブ喫茶店にて。ウッドとダラブッカの伴奏によるアラブの歌の演奏。

## アフリカはこんなにも近い！

ヨーロッパの一国であるスペイン。しかし、ジブラルタル海峡（イギリス領）付近のスペイン南端からアフリカ大陸までは、実は十数キロしか離れていないのです。アンダルシアにてアラブ文化に魅了されていた私は、ぜひモロッコにも行ってみたい！と、スペイン滞在中にモロッコのタンジェに一人旅をしたことがあります。港から小さな漁船のような船に乗り、少し経つと、すぐ目の前にアフリカ大陸が見えてきました。ヨーロッパにいと、アフリカ大陸は遠い彼方と思いがちですが、実は、こんなにも近いのです。手漕ぎボートのようなものでスペインに密入国する人々がいるという話にもうなずけます。ずっと遥か昔から、アラブ人とスペイン人は交流してきたのだと改めて実感しました。



スペイン・アンダルシア地方には、今回ご紹介したところ以外にも、オペラ〈カルメン〉の舞台となったセビリア、世界最大級のメスキータ（イスラム教礼拝堂）で有名なコルドバ、ピカソの生まれ育ったマガラなど、様々な見どころがあります。また、シェリー酒、生ハム、タパス（おつまみ）などスペイン料理をはじめ、モロッコのクスクスやタジン鍋など、スペインにしながらアラブ文化を楽しむこともできます。アンダルシアにて、人々とふれあいながら生活の様子について知る中で、日本での暮らしよりもゆったりとした時間の流れと、人々の大らかさを感じました。また、この地に様々な文化が流れ込み、混合してきた長い歴史について、思いをはせることができました。文化は、それぞれの地に脈々と受け継がれてきた、人々の考え方や好みの表れであることを知ると、より異文化体験を楽しめるのではないのでしょうか。



第12回

# 地球となかよし メッセージ

## 作品募集 (2014年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、  
写真 (またはイラスト) にメッセージをつけて表現してください。

応募者全員に  
参加賞が  
もらえるよ!

|           |                                                                                                                                              |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 応募資格      | 小学生・中学生 (数名のグループ単位での応募も可)                                                                                                                    |
| 応募期間      | 2014年 7月1日 ~ 9月30日<br>詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。                                                                                        |
| 作品<br>テーマ | ①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境<br>や生き物を守るための取り組み<br>②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交<br>流、国際理解に関すること<br>③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと |

◎主催／教育出版 ◎協賛／日本環境教育学会  
◎後援／環境省、日本環境協会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞社、毎日小学生新聞  
※協賛・後援団体は昨年実績で、継続申請中です。

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね

<http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>

**教育出版**

「地球となかよし」事務局

TEL 03-3238-6862 FAX 03-3238-6887  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

入選  
作品



たんぼぼって、すごい!

おにわに、もうすぐ「わたげ」になりそうな「たんぼぼ」  
がありました。それを、ままがぬいてしまいました。「か  
わいそう」とおもって、もうすぐ、わたげになりそうな「た  
んぼぼ」を、そおとそのまま、げんかんにおいておき  
ました。するとびっくり!! 水をつけていなかったのに、  
2日ごとに白い大きな「わたげ」になっていました。「た  
んぼぼ」のつよさにおどろきました。かっできた、花び  
んのお花は、水につかっていたら、すぐにかれて  
しまうのに。

しぜんって、すごいなあとおもいました。わたしも、  
たんぼぼのように、こまったことがあってもじぶんでな  
んとかできるつよさをもちたいです。

小学音楽通信 **Spire\_M**〔2014年 春号〕 2014年 3月31日 発行

編集：教育出版株式会社編集局 発行：教育出版株式会社 代表者：小林一光

印刷：大日本印刷株式会社 発行所：教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

電話 03-3238-6864 (お問い合わせ)

URL <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp>



**なかよし宣言**

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技  
術の進展や国際化、情報化、高齢化によっ  
て、今、大きく変わろうとしています。このよ  
うな社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆ  
る命がのびのびと生きていくためには、人や自  
然を大切にしながら、共に生きていこうとする  
優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」  
というコンセプトワードに込め、社会のさまざ  
まな場面で人間の成長に貢献していきます。

|       |                                                                                         |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 北海道支社 | 〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F<br>TEL : 011-231-3445 FAX : 011-231-3509       |
| 函館営業所 | 〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一生命ビルディング 3F<br>TEL : 0138-51-0886 FAX : 0138-31-0198             |
| 東北支社  | 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F<br>TEL : 022-227-0391 FAX : 022-227-0395      |
| 中部支社  | 〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F<br>TEL : 052-262-0821 FAX : 052-262-0825        |
| 関西支社  | 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F<br>TEL : 06-6261-9221 FAX : 06-6261-9401           |
| 中国支社  | 〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F<br>TEL : 082-249-6033 FAX : 082-249-6040 |
| 四国支社  | 〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F<br>TEL : 089-943-7193 FAX : 089-943-7134                |
| 九州支社  | 〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-11-30 クレセント東福岡 E 室<br>TEL : 092-433-5100 FAX : 092-433-5140        |
| 沖縄営業所 | 〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F<br>TEL : 098-859-1411 FAX : 098-859-1411                   |